



肖像画の女性は 見つめる  
誰を? とりあえず私を  
いいえ 私をつきぬけて 向こうを  
そのまつすぐな矢によって  
私は消去される  
女性は消え失せている

高橋睦郎

# ジョゼフ・コーネル × 高橋睦郎

## 箱宇宙を讃えて

2010年4月10日|土| - 7月19日|月・祝|

主催: 川村記念美術館 (DIC株式会社)

後援: 千葉県/千葉県教育委員会/佐倉市/佐倉市教育委員会

開館時間: 午前9時30分 - 午後5時 (入館は4時30分まで)

休館日: 月曜日[5/3と7/19は開館]、5/6(木)

入館料: 一般1,100円(900円)/学生・65歳以上900円(700円)/

小中学生・高校生500円(400円) ※ ( )内は20名以上の団体料金

川村記念美術館

Kawamura Memorial Museum of Art 千葉県佐倉市坂戸631 Tel.0120-498-130 <http://kawamura-museum.dic.co.jp>

川村記念美術館の収蔵品をいつもと違う視点からご紹介する「コレクションViewpoint」。

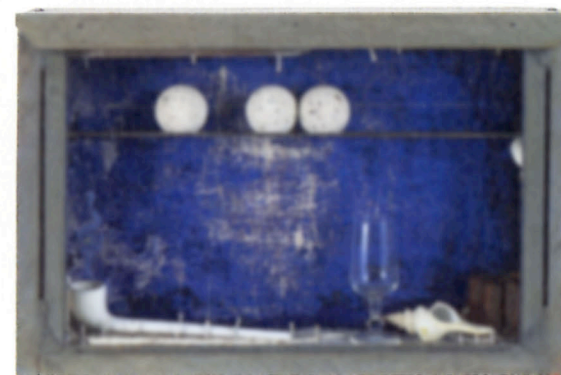
今回は、箱のアーティスト、ジョゼフ・コーネル(1903-1972)の作品16点を、詩人・高橋睦郎の道案内でお楽しみいただきます。

貝殻や星図、リキュール・グラスや古い絵画の複製など、小さな品々が詰まった手作りの木の箱。コーネルが地下室のアトリエでこつこつと作り続けたそれらは、美術作品でありながら、彼自身の幸せな子供時代を封じ込めた宝物箱、叶わぬ夢や憧れのための飾り棚といえるものでした。そしてまた、両手で抱えられるほどの大きさの箱は、のぞき見る人の空想しだいで、どこまでも拡がっていく無限の宇宙にも姿を変えます。誰もが心の奥に大切にしまいこんでいる世界。その豊潤さや甘美さを、コーネルの箱は思い出させてくれるのです。そんなコーネル芸術を深く敬愛する高橋睦郎は、1993年に「この世あるいは箱の人」と題した詩をつくり、この稀代のアーティストを讃えました。そして本展では、当館が所蔵する作品ひとつひとつに捧げた詩16篇を新たに発表します。コーネルの創作と同じくひそやかに綴られた言葉は、その「小さく広大な世界」を清新な光で照らし出すにちがいません。

美術家と詩人、20世紀のアメリカと現代の日本——異なる時空に生きながらも、それぞれ独自の小宇宙を創造したふたりのコラボレーションを通じ、これまでにないコーネル・ワールドを体験していただけることでしょう。



《無題(オウムと巣の住まい)》1948年頃  
手製の木箱、版画、蝶の標本、金網、ガラス、捕虫網など



《鳥たちの天空航法》1961年頃  
手製の木箱、コルク球、コーディアル・グラス、巻貝、素焼きのパイプなど



《無題(星ホテル)》1956年頃  
手製の木箱、ブリキ製の太陽(缶の切り抜き)、金属棒、輪、鎖、釘、小球など

# Joseph Cornell × ジョゼフ・コーネル × 高橋睦郎 Mutuo Takahashi: 箱宇宙を讃えて Intimate Worlds Enclosed



《無題(ピアノ)》1947-48年頃  
手製の木箱、楽譜、小箱、青ガラス、オルゴール、天使の塑像など



《無題》1930年頃  
コラージュ、厚紙



《古美術の娘(カシオペア)》1961-63年頃  
版画と印刷物の切り抜き、色鉛筆、書物の一頁、メソナイト(硬質纖維板)

## 高橋睦郎 詩の朗読会「コーネルの箱宇宙を讃える」

4/17(土) 午後2時-3時  
高橋睦郎がコーネルに捧げる詩を朗読し、作品の魅力について語ります。予約不要・無料。  
(朗読会終了後にサイン会を行います)

## 学芸員によるギャラリートーク

4/10(土)、6/27(日) 午後2時-3時  
展覧会の担当学芸員が、会場をご案内してコーネル作品を解説します。予約不要・無料。

## ガイドツアー

上記イベント開催日以外の毎日午後2時より、ガイドスタッフによるツアーを行っています。予約不要・無料。

## 交通案内

- ◎自動車で  
東関東自動車道「佐倉IC」を出て、国道51号を千葉方面へ進み「坂戸」交差点を左折、県道22号線(=八街横芝線)を八街方面へ約700m直進右手(約10分)無料駐車場300台
- ◎東京駅から  
JR総武線快速エアポート成田で「佐倉駅」下車(約60分)、南口の川村記念美術館バス停より無料送迎バス(約20分)
- ◎京成上野駅から  
京成本線特急または快特の成田方面行きで「京成佐倉駅」下車(約60分)、南口「シロタカメラ」前より無料送迎バス(約30分)

## 送迎バス時刻表 | \*印は土・日曜・祝日のみ運行増便

京成佐倉駅発	8:50	9:10	9:50	10:20	10:50*	11:20	11:50*	12:20	-	13:20	13:50*	14:20	14:50*	15:20	15:50
JR佐倉駅発	9:00	9:20	10:00	10:30	11:00*	11:30	12:00*	12:30	13:00*	13:30	14:00*	14:30	15:00*	15:30	16:00
美術館発お帰りの便	10:50	11:20*	11:50	12:50	13:20*	13:50	14:20*	14:50	15:20	15:50	16:20*	16:45	17:15		

## 音声ガイド

高橋睦郎による詩の朗読や展覧会案内、作品解説などをお楽しみください。  
コレクションの解説もあわせてお聞きいただけます。  
1台500円。

## 関連出版「箱宇宙を讃えて」

高橋睦郎の「この世あるいは箱の人」と新作詩16篇、コーネル小論を収録した書籍です。  
128頁。日英バイリンガル。予価2,500円(税込)。



■印=案内板

特別展示

2010年3月30日|火| - 5月23日|日|

# 色紙貼付

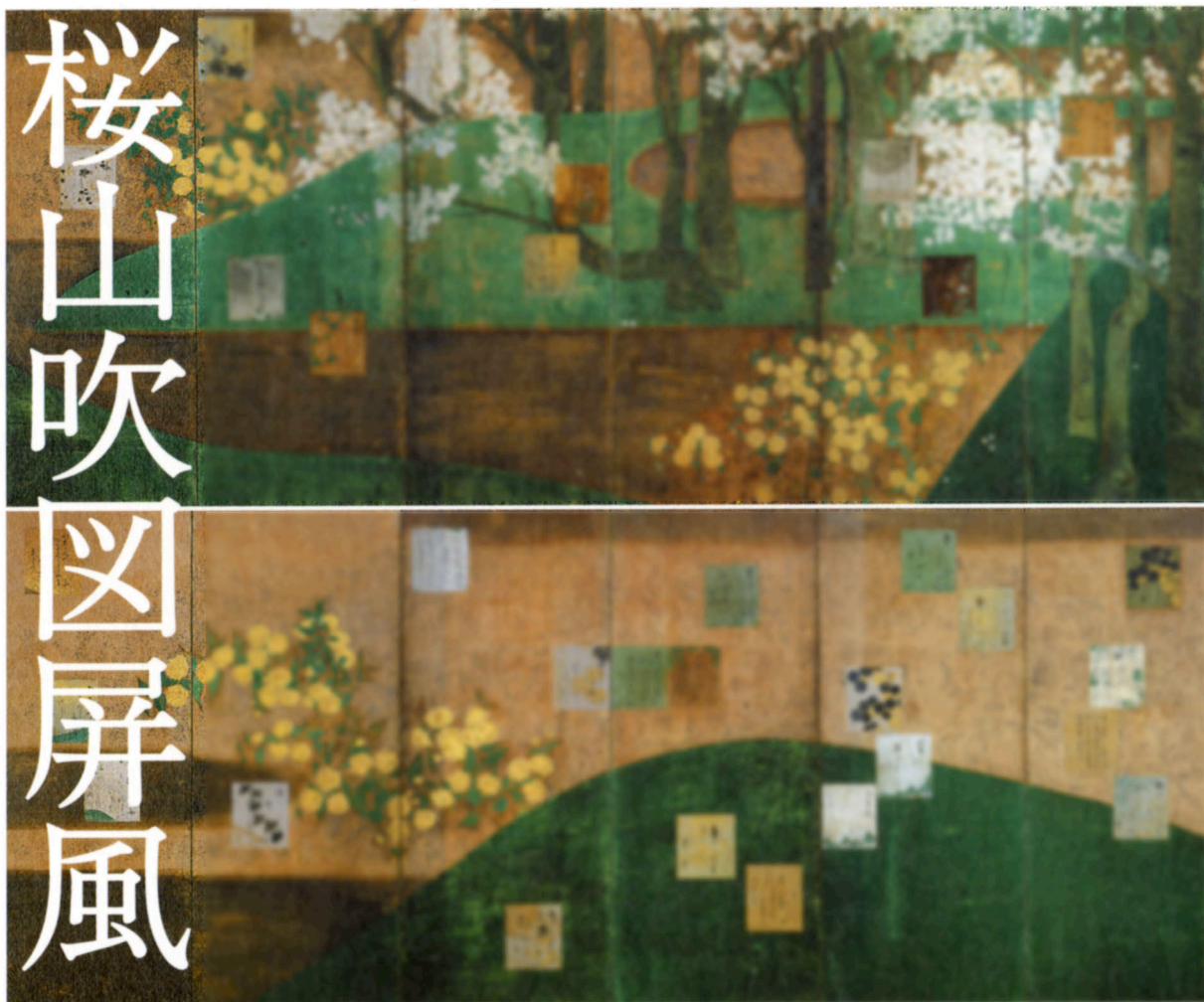
屏風.. 伝 俵屋宗達筆  
色紙.. 本阿弥光悦筆

このたび川村記念美術館では、東京国立博物館が所蔵する《色紙貼付桜山吹図屏風》を特別に展観する運びとなりました。

慶長10(1605)年頃に制作された本作は、桃山時代から江戸初期にかけて京都で花開いた「琳派」の創始者、本阿弥光悦と俵屋宗達の合作によるものと言われ、宗達の初期の作風を伝える重要な作品です。ゆるやかに広がる緑の丘に、真っ白な山桜と金色の山吹が咲き誇り、山里の遅い春の訪れを感じさせます。宗達は、この雅やかな情景を描き、そのうえで、自らの下絵に光悦が古今和歌集の句を書写したとされる色紙を屏風全体に優美に配しています。

美術館の庭園でも春の花が見頃となるこの季節、自然散策とあわせて本作をご高覧いただければ幸いです。

屏風: 伝 俵屋宗達筆 色紙: 本阿弥光悦筆 《色紙貼付桜山吹図屏風》江戸時代・17世紀、六曲一反、東京国立博物館所蔵  
Image: TNM Image Archives Source: <http://TnmArchives.jp/>



# 桜山吹図屏風